

2018年1月5日

鹿児島大学病院 神経内科で

「HTLV-1 関連疾患の病態解明と治療法・予防法の開発に関する研究」

にご参加頂いた患者さんへ

(医学系研究に関する情報)

鹿児島大学難治ウイルス病態制御研究センター分子病理病態研究分野では鹿児島大学医歯学総合研究科神経病学講座神経内科・老年病学分野と共同で以下の医学研究を実施しております。この研究は、以前私どもにより行われた「HTLV-1 関連疾患の病態解明と治療法・予防法の開発に関する研究」にご参加頂いた患者さんの試料より得られた研究データを用いて、新たに中国、台湾、日本の HTLV-1 を比較検討する研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】

中国福建省ならびに台湾と西南日本における HTLV-1 に関する比較研究

【研究機関】

鹿児島大学難治ウイルス病態制御研究センター分子病理病態研究分野

【研究責任者】

鹿児島大学難治ウイルス病態制御研究センター分子病理病態研究分野
教授 久保田龍二

【研究の目的】

HTLV-1 は感染者の一部に成人 T 細胞白血病 (ATL) や HTLV-1 関連脊

髄症（HAM）を引き起こします。九州には感染者が多いですが、中国および台湾での HTLV-1 の感染実態およびウイルスの性状はよくわかっていません。本研究では、中国、台湾および日本の HTLV-1 の全遺伝子配列を決定してウイルスのサブグループを明らかにし、3 国間の HTLV-1 の比較研究を行います。さらに HTLV-1 遺伝子の進化と東アジアにおける進展を明らかにすることを目的としています。

【研究の方法】

日本人の HTLV-1 遺伝子配列に関しましては、「HTLV-1 関連疾患の病態解明と治療法・予防法の開発に関する研究」にご参加頂いた患者さんの試料より得られた以前の研究データを用います。中国人および台湾人の方からは、現地の共同研究機関で末梢血の採血を行い、同様に HTLV-1 の遺伝子配列を決定します。これら 3 国のウイルスの遺伝子配列から、HTLV-1 のどのサブグループに属するかを判定します。さらに、系統樹解析という方法を用いて、HTLV-1 のアジアにおけるルーツおよび進化に関して解析を行います。本研究は多施設共同研究ですが鹿児島大学が代表で行います。

【対象となる患者さん】

2014 年 6 月 6 日から 2016 年 3 月 31 日までに、鹿児島大学病院神経内科で HAM または HTLV-1 キャリアと診断され、「HTLV-1 関連疾患の病態解明と治療法・予防法の開発に関する研究」にご参加頂いた患者さん。

【試料や診療録（カルテ）から利用する情報】

上に述べましたように、以前皆様から同意を得られた研究で解析しました HTLV-1 ウイルスの遺伝子配列と臨床診断名（HAM または HTLV-1 キャリア）を利用いたします。

【個人情報の取り扱いについて】

HTLV-1 ウイルスの遺伝子配列情報を利用しますが皆さんの遺伝子情報は

含みません。また、研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や住所など、患者さんを直接特定できる個人情報削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、公的研究費（文部科学省科学研究費）で実施しますので、利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-8544

鹿児島市桜ヶ丘8丁目35番地1号

鹿児島大学難治ウイルス病態制御研究センター分子病理病態研究分野

教授 久保田龍二

電話 099-275-5941 FAX 099-275-5942